



モトクロス世界選手権 第15戦 最終戦 ファエンツァGP MX1クラス

開催日: 2008年9月14日(日)
開催地: イタリア / ファエンツァ
周回数: ヒート1=22周、ヒート2=22周
入場者数: 30,000人

今シーズンの15戦で、総合成績で優勝2回を含めて7度表彰台に立ち、チャンピオンを獲得したフィリップパエルツ



フィリップパエルツ、MX1チャンピオンを獲得!

MX2クラスからMX1へと移って2年目、ヤマハでは1年目のフィリップパエルツは、チャンピオンのかかったこの最終戦を、ライバルのラモン(スズキ)、デ・ディッカー(スズキ)と少ないポイント差で迎えた。しかし母国イタリアのファエンツァに集まった30,000人の地元ファンの期待に応える走りでも総合5位とし、2008年世界選手権MX1のチャンピオンを獲得した。

第1ヒート、フィリップパエルツは序盤の8番手から追い上げ、ラモンを引き離すとともに中盤までにデ・ディッカーに続く3番手に浮上する。その後もポジションをキープして3位でフィニッシュ。ラモンが11位となったことでタイトル獲得に必要なポイントは3ポイントとなった。

第2ヒート、フィリップパエルツはトップ10内を安全に走行して9位でゴールし、チャンピオンを獲得した。これによりヤマハは、MX1がスタートした2004年からの5年間で、4度目のタイトルを手にした。

コピンズは、第1ヒートはトラブルに見舞われて10位。第2ヒートでは調子を取り戻し、ライバル勢とバトルを展開して3位でゴール、総合6位を獲得。ランキング5位でシーズンを終えた。

D・フィリップパエルツ選手談(3位/9位:総合5位):「すごく長い1年だった。ラモンとデ・ディッカーは今週ずっと速くて、常にプレッシャーを感じていた。毎戦できる限り多くのポイントを獲得したいとがんばってきたが、タイトルを獲得できると本当に信じたのは、今日の第2ヒートだった。チーム、ヤマハ、ミシュランなどの多くのスポンサーの期待に応えることができ、またイタリアで地元ファンの前でチャンピオンになれたことがすごくうれしいし、感動している。今は何と云った方がいいのか言葉が見つからないよ!」

J・コピンズ選手談(10位/3位:総合6位):「今シーズンは僕の年ではなかったけど、チームがチャンピオンを奪還できたことを喜んでいる。第1ヒートではサスペンションにトラブルがありブレーキングポイントとトラクションに影響して2度も転倒してしまった。第2ヒートは、スタートが良くトップグループで走れることを示すことができた。今シーズンは怪我もなく終わることができて良かったが、ランキング5位という結果には満足していない。来シーズンこそはタイトルを獲得したい!」

レーシングマネージャー M・ラスバンティ談:「チームとヤマハに関わる多くの人々にとって、素晴らしい一日だった。今シーズン、フィリップパエルツは何勝かできるだろうと思っていたが、経験を積む年としていた。だからチャンピオン獲得は非常に大きな仕事をしたといえる。コピンズは多くの不運が重なったことを思うと良い結果でシーズンが終わったと思う。タイトルを奪還できたことをよこんでいるし、2009年もそれを守るように今後もハードワークを続けるつもりだ!」

決勝結果 ヒート1

順位	ライダー	国籍	マシン	タイム
1	M・ナグル	GER	KTM	38'49.652
2	K・デ・ディッカー	BEL	Suzuki	+0'31.860
3	D・フィリップパエルツ	ITA	Yamaha	+0'35.891
4	J・バラガン	ESP	KTM	+0'42.932
5	B・マッケンジー	GBR	Honda	+0'44.356
6	M・ド・ルーバー	NED	Honda	+0'45.635
10	J・コピンズ	NZL	Yamaha	+1'00.552
15	L・コレイラ	POR	Yamaha	+2'23.116
18	C・カンパーノ	ESP	Yamaha	+1 Laps
20	L・レオンス	FRA	Yamaha	+1 Laps

決勝結果 ヒート2

順位	ライダー	国籍	マシン	タイム
1	M・ナグル	GER	KTM	39'20.428
2	S・ラモン	BEL	Suzuki	+0'05.714
3	J・コピンズ	NZL	Yamaha	+0'10.748
4	J・バラガン	ESP	KTM	+0'13.861
5	K・デ・ディッカー	BEL	Suzuki	+0'15.936
6	T・レオク	EST	Kawasaki	+0'17.332
8	C・カンパーノ	ESP	Yamaha	+0'56.674
9	D・フィリップパエルツ	ITA	Yamaha	+0'57.990

ポイントランキング

1	D・フィリップパエルツ	Yamaha	509
2	S・ラモン	Suzuki	495
3	K・デ・ディッカー	Suzuki	490
4	J・バラガン	KTM	455
5	J・コピンズ	Yamaha	446
14	A・レオク	Yamaha	164
21	C・カンパーノ	Yamaha	74

コンストラクターポイント

1	Suzuki	587
2	Yamaha	583
3	KTM	575
4	Kawasaki	518
5	Honda	470
6	TM	43
7	Aprilia	23

MX2クラス

オバンがランキング3位を獲得!

ヤマハ・リッチー・レーシングのオバンは、最終戦をそれぞれ9位/8位とし、総合7位を獲得。ポイントランキングでラットレイ(KTM)、サーレ(KTM)に続く3位を獲得した。また10戦以降降下していたカイローリはランキング6位となった。

N・オバン選手談(9位/8位:総合7位):「2007年に1勝しているし、2008年中にぜひもう1勝したかったが、ライディングが硬く十分な速さで走れなかった。ランキング3位という結果に満足はしているが、カイローリが負傷していなければ、僕は恐らく4位になっていただろう」

